



東京バビロン
Dance Project

こんなに無防備に晴れ渡った青空に、
あの一族の名<シャカ>が響き渡っている。

傷つき倒れた無言の地上では、
他者性の無限が静寂に向けて開いている。

それは言語を絶する「期待」である。

やがて、見たこともない白い砂漠が、
来たるべきキャラバンのように始るだろう……。

シャカと青空

越境する TRIANGLE ZONE

5月1日(火)~5月6日(日)

シアター・バビロンの流れのほとりにて

シヤ力と青空


越境する TRIANGLE ZONE

◎12年5月1日(火)~5月6日(日) ※5月3日(木)は休演日

シアター・バビロンの流れのほとりにて

蟹のぬげがら


朝弘佳央理



▶演劇や映像作品、他分野のアーティストとも共演。近年は写真家としても活動している。代表作『輪郭(東京バビロン dance selection)』『beads(ラ・ソレス・コントラステ)』
<http://chloe.petit.cc/>

×


入江淳子



▶さまざま通過する単純な体で何ができるのか、と思ったり思わなかったりしながら踊って10年。そろそろいい頃合です。

×

中村友紀




▶群馬県出身。全国舞踊コンクール第1位 文部大臣賞(現代舞踊)。文化庁在外研修員として渡仏。

5月1日(火) 19:00 開場 19:30 開演

macaron★mou

5月2日(水) 19:00 開場、19:30 開演


屋保 恵



▶音大在学中より踊り始める。05年創作活動を開始。ソロを中心に、ほちほち作品を発表。即興にて美術館、ギャラリー、カフェ、クラブなど、あちこちで踊る。

×


高野チカコ



▶1979.11.9生まれ。2002~2007 川野眞子、中村しんじ師氏に師事。以降、群舞、ソロ等の作品を発表している。

×

博美




▶演劇をきっかけにおどりはじめる。ジャズダンス、モダンダンスを経て、舞踏を小林健織に師事、NOSURIメンバーとして作品に出演。ノイズダンスユニット・maguna-techを共同主宰。
http://www.geocities.jp/maguna_tech/

未来のイヴ

5月4日(金) 19:00 開場、19:30 開演


佐藤ペチカ



▶震災で季節に点が打たれた。踊る私に点を打ち、振り返る作業が必要となる。

×


若尾伊佐子



▶2000よりソロダンスシリーズを始め、2002の3回目より無音・即興で踊ることを試みている。ソロ自主公演の他、美術、映像、音楽とのコラボレーションを劇場、ギャラリー、ライブハウス、野外などで行なっている。

×

秦 真紀子



▶ふわふわうのようによくにゅくにゅ……柔らかな身体と独自の言葉で擬音語ダンスを展開中。丁寧に繊細に動きを淡々と静かに積み上げる透明感のあるダンスを目指す。

未来のイヴ

5月5日(土) 19:00 開場、19:30 開演

亞弥(あや)



▶音楽や美術からはじまり身体へ興味をもち舞踏へ。即興での音と踊りの新しい関係を探る。2010年末バビロン企画にてソロ開始。現在、上杉清代氏のもとで箇の踊りを探求中。
<http://aya.omnibo.com>

×

ラビィ<Lavie>



▶映像制作、ショーダンサーなどを経る。02年より舞踏へ。03年〜舞踏家上杉清代に師事。上杉清代+アヒルスタジオ作品全てに出演。07年よりソロ公演開始『休日日+HOLY DAY』『ド・ド・ド・カエル』など。

×

田村のん



▶2004年~2009年 小林健織に師事。『月長石』にこだわつつも、現在、上杉清代主催舞踏ワークショップ『火燭会』にて箇の踊りを探求中。
http://mixi.jp/view_community.pl?id=4590942&

未来のイヴ

5月6日(日) 16:30 開場、17:00 開演

今野真弓



▶1957年、横須賀で生まれる。1981年、SDC舞踏研究所入団。1987年、ソロ活動を開始する。以降、毎年公演を行う。2010年より、シリーズ「折り畳まれた森」プロデュース。

×

芽衣桃子



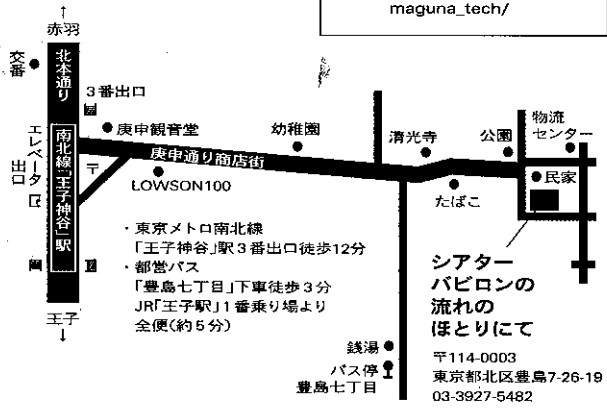
▶2001年9月より、大塚博隆主催「北沢の会」にて舞踏開始。テリフシロ、丸船、シリーズ、北沢公演、ソレスキー、海辺で、等に参加。四谷道雄主宰の「5」独自の動きを模索中。

×

小松亨



▶01~田出親氏主催舞踏、土方真樹舞踏研究所を境にダンス・パフォーマンス、表現的な欲望と動きを踊りに舞踏の在りかを再び探して行きます。



企画プロデューサー ▶ 岡村洋次郎(劇団阿彌 主宰/東京バビロン代表)

企画コーディネーター・アドバイザー ▶ 宮田徹也(日本近代美術思想史研究)

照明 ▶ 安達直美(5月1日~5日)、ソライロヤ(5月6日)

スタッフ ▶ 榎松朝子、加古貴之、高橋直人、坂本康郎

主催 ▶ 東京バビロン

料金：前売 2,000円/当日 2,500円/通し券 6,000円
申し込み・お問合せ：東京バビロン 03-3927-5482 (10時~20時)
t.babylon@r5.dion.ne.jp